

朋友 おおいた

第1号

発行
大分教区仏教壮年会連盟
〒874-0920
別府市北浜3丁目6-36
本願寺別府別院内
TEL 0977-22-0416
FAX 0977-24-7831

『仏教壮年の活躍に期待する』



大分教区仏教壮年会連盟会長
大分教区教務所長

寺井 紹道

この度、しばらく休刊となつておりました大分教区仏教壮年会の機関誌が名称と装いも新たに『朋友おおいた』として発刊されることは誠に有難いことです。

壮年会組織が連盟化され、2011(平成23)年4月から厳

修されます50年に一度の宗祖親鸞聖人750回大遠忌法要が愈々近づいてまいりましたこの時期、深いご縁を感じることであります。

来る大遠忌のスローガンは「世の中安穏なれ」です。ご門主様は「大遠忌についての消息」の中で、「如来の智慧によって、争いの原因が人間の自己中心性にあること

に気付かされ、心豊かに生きることのできる世の中、平和な世界を築くために貢献したい」とお示しです。また、仏教壮年会連盟綱領の中にも「心豊かに生きる社会の実現を目指します」と謳っております。

現代はあらゆる面で問題が山積しており、混迷を深めております。今こそ、仏教壮年の皆様にはお念仏を抛りどころとした念仏者の誇りと自覚をもって、安穏の世の中、御同朋の社会の実現をめざし、手を携えて精進いたしましょう。

合掌

「朋友おおいた」発刊にあたって



大分教区仏教壮年会連盟理事長

有 永 俊 文

久しくとだえていました我々の仏社会報が新たに「朋友おおいた」として発刊されることになりました。これは昨年仏壮が連盟化されたことを機に、会報を通じ教区内の我々の活動の活性化に役立てようとするものであります。その為にも、この会報を大いに活用し単位会・組会など互いの活動状況を開示するなどの情報交換の場として、又会員各位より活動に対する

思いや意見なども発表していただく場となるのが大切だと思えます。

この会報は全員参加により作られるものであり、会員相互の情報の共有と交流にも役立つものと思えますので、紙面づくりには積極的なご協力をお願いいたします。又、この会報を通じさらなる朋友の輪の拡がりにつながれば幸いです。

役員紹介

理事
任期：2007.4.1~2010.3.31

組	氏名	所属寺	役職
大海	加藤 武士	専念寺	副理事長
由布院	伊東 俊泰	教法寺	
速見	平松 幹雄	寶蓮寺	
臼佐	森崎 俊範	真宗寺	
東国東	福田 正人	浄念寺	理事長
豊後高田	安藤 悟	法専寺	
国東中	有永 俊文	光徳寺	
大野	柿迫 正命	最乗寺	
玖珠	畑山 忠成	専光寺	副理事長
日田	珠山 賢治	徳勝寺	
岡	中城 賢一	光明寺	
耶馬溪	梅木 治三郎	教円寺	
下毛中	友松 孝行	長久寺	副理事長
中津	嶋澤 司郎	明照寺	
深見	中山 文弘	真徳寺	
院内	石川 直巳	安楽寺	
津房	阿部 善孝	教徳寺	副理事長
宇佐	松本 兼次	円徳寺	

監査員

大海	宮本 幸生	教尊寺
速見	安部 俊之	覚正寺

活 動 報 告

大野組仏教壮年連盟活動紹介！ 念仏バス旅行記

― 臼佐組福勝寺様 ―

2008年2月11日(祝日)仏
社員22名と住職5名が参加し、
臼佐組の津久見の福勝寺様に参拝
し、福勝寺仏壮と交流会を行った。
仏壮の皆さん約15名が温かく迎え
てくださり、まず、お勤めのあと
ご法話をいただき交流会へ。福勝
寺仏壮の立ち上げから、現在の活
動まで詳しくご説明いただき、資



料もたくさんいただいた。

そして、何より、その2日後に
福勝寺仏壮より「福勝寺仏壮の会
報」が第1面に『大野組仏教壮年
会の皆さんを迎えて』の見出しの
もと集合写真が掲載されて送られ
てきた。これには驚かされ！リア
ルタイムの動きに感服した。福勝
寺仏壮が活き活きと活動している
姿を垣間見た気がする。

さて、話を元に戻して、いよいよ
交流会のメイン、昼食懇親会。
地域のお弁当と、福勝寺仏壮の会
員が朝釣ってきたというブリと、
イカの刺身を堪能。大野組からは
隣の竹田市より「どぶろく(竹
田市は特区で正式に解禁されてい
る) や地酒・地焼酎がお供えさ
れ、昼間から大宴会が繰り広げら
れた。歌や踊りも披露されたが、
とにかく、あちこちで仏壮の活動
内容の話し、ご法義の話し、連研
の話し、雅楽の話しなど、帰りの
時間があつという間にきてしまっ
た。事後談だが、その中、2カ寺
のお寺さんがお寺に帰って2次会
となり、宴会が延々と続き、「う
ちも、仏壮を立ち上げよう！」と



力強い言葉も出てきたそうだ。こ
の中から、今年2カ寺の単位会が
結成され、9月には1カ寺、今年
中にはもう1カ寺で仏壮が産声を
あげそうである。

今年6月に行われた総会で、隔
年で行うはずの念仏バス旅行だっ
たが、都合で行くことのできな
かったお寺の仏壮から、「今年も
ぜひやってほしい」という要望が
多く出され、今年度も同じ2月11
日の祝日に行くことになった。行
き先は速見組日出町の覚正寺様。
どんな出会いが待っていることや
ら、とても楽しみだ。

「ファミリー・ボン・フェスタ」

― 最乗寺仏壮を中心に開催 ―

宗門が進めている『キッズサン
ガ』を受けて、最乗寺仏壮では総
代会・仏婦・青年会・子ども会・
保育関係者・寺族と協力して、「子
どもを中心とした何か集いを！」
と、『ファミリー・ボン・フェスタ』
を開催することにした。

一昨年立ち上がった最乗寺仏壮
だが、会員の拡充と「何か活動を」
と模索していたところへ、この
『キッズサンガ』のことを知り「こ
れだ」と仏壮の役員会から話が持
ち上がり、それが具体的なもの
になった。

仏壮が中心となり各教化団体等
と協力して『ファミリー・ボン・
フェスタ』をご門徒や有縁の方々
が集い、子どもから大人まで、み
んなで楽しめる、子どもを主体と
した盆踊り大会として開催する。
日時は8月29日(土)午後7時より。
内容は「最乗寺子ども太鼓、親子
ゲーム大会、昔懐かしい縁日のよ
うな出店、盆踊り」。

仏壮が活き活きと活動するご縁
となればと願っている。

法話

すばらしい出会いを



大分教区 速見組 正善寺 住職
仏教壮年会連盟活動推進講師

藤井 邦 磨

一、忙しくても

「お寺にお参りしませんか？」と声かけをしますと、「忙しいので」という返事が時々返ってきます。しかし、どんなに忙しくても、一年一年歳をとることは避けられません。(老苦)人によっては、葉やお医者さんの世話になったり(病苦)、働き盛りの現職であつても亡くなつたり(死苦)するのがわたしたちです。又、ある人は「お寺のことは妻に任せています。」といわれます。しかし、どんなに仲のよい夫婦でも、夫のつらい病気を一日たりとも妻が代わって引き受けることはできません

ん。妻が見たよい夢の続きを、夫がみることは叶いません。自分の人生は誰にも代わってもらうことはできません。逆に他人の人生も、自分が代わつてあげることも出来ないのです。積尊は『無有代者』(代わるもの有ること無し)と説かれてあります。これが人生です。

二、仏教Ⅱ死？

ゴルフ、ゲートボール、グラウンドゴルフ、カラオケ、詩吟等々。今日は趣味や楽しい集いが沢山あります。週一回どこか毎日でも、といわれる人も多くいます。では、「仏教壮年会に行きませんか？」

と呼びかけたら、「ハイ、待ってました！」という返事は極めて少ないのが現状です。「仏教」という言葉がつくと、多くの方は敬遠しがちです。それは仏教Ⅱ高齢者向け、仏教Ⅱ死という方程式が頭の中にできていくからでしょう。私はまだ若い、自分の死はずーっと先のこと、お寺は堅苦しいところなどの先入観があるのでしよう。日本仏教の長い歴史を見ますと、確かにそのような受けとめられ方をされても仕方のない一面がありますが…。

三、ほんとうの出会い

間もなく敬老の日を迎えます。仏教の尺度(ものさし)では、数字の面から見た長生きだけを尊いことであるとは申しません。単に五欲(眼・耳・鼻・舌・身の五感)を満たす為にアクセルを踏み続けるだけの一生で終わっては空しいことです。逆にブレーキをかける必要すら感じさせられる昨今の社会現象です。無数のいのちの中で、

今、わたしたちは人間としてのいのちを賜っています。

「二度限りのわたしの人生」わたし一人だけでは生きていけないのちであるにもかかわらず「オレが、オレが」とお互いに「我」を張っている毎日です。相田みつをさんは「一番わかっているように、一番わからぬこの自分」と喝破されました。

このようなわたしをめざさせ、どんなことがあつても見捨てはしないと、常に呼びかけていただいているお方。わたしとともによろこび、悲しんでくれるお方。そのお方を阿弥陀如来さまと申します。阿弥陀如来さまはあたたかい、広い、深い、慈しみのお心をもたれた仏さまです。

相田みつをさんは「そのときの出逢いが人生を根底から変えることがあるよき出逢いを」といわれています。

阿弥陀如来さまとの出会い、善き親友(朋友)との出会い、そして自分自身との出会いの場が仏教壮年会です。

大分教区仏壯連盟2009(平成21)年度活動計画書

1. スローガン
ともにいのちかがやく世界へ

2. 活動方針
「親鸞聖人750回大遠忌についての消息」を体して、仏教壮年としての新たな始まりを期して、自主・自営の活動を進め、組織の充実発展に向けて具体的に取り組み。一人ひとりが親鸞聖人のみ教えに学び御同朋の社会をめざして、宗門の基幹運動(門信徒会運動・同朋運動)を、一層強力に推進する中核となる。

3. 重点目標
沿って、積極的な活動を展開する。

① 単位会・組連盟結成を促進する。

② 仏壯理事・仏壯担当者による仏壯活動を積極的に推進する。

4. 事業計画
① 生活実践
② 青少年・幼年の育成につとめる。

* 少年教化活動を奨励し、キット・ズサンガ活動計画・実施に参画する。

② 家族みんなで朝夕勤行と浄土真宗聖典を拝読しよう。

「われわれ仏教壮年は、自らの生き方を親鸞聖人のみ教えに聞き、ともにお念仏申す朋友の輪を拡げ、心豊かに生きる社会の実現をめざします」という「仏教壮年会連盟 綱領」の精神に

仏教壮年会連盟綱領

われわれ仏教壮年は、
自らの生き方を親鸞聖人のみ教えに聞き、
ともにお念仏申す朋友の輪を拡げ、
心豊かに生きる社会の実現をめざします。

③ 寺院行事へ積極的に参加し、聞法の座を重ねよう。

④ ご本尊「いちよう」「きく」を子や孫に送り、信仰ある生活の確立をめざす。

⑤ 寺院での初参式・成人式・仏前結婚式の奨励。

(2) 組織強化
① 全組に組連盟を結成・充実をはかろう。

② 単位会を結成し、教区連盟への登録を推進しよう。

③ 若年会員の教化育成と幹部後継者の養成。

(3) 研修
① 全組で「壮年の集い」を開催する。

② 幹部養成研修会の充実。

(4) 広報活動

① 「朋友」浄土真宗入門のてびき」を活用しよう。

② 機関紙「朋友」を単位会へ配布する。

③ 「浄土真宗聖典」・「季刊せいてん」・「本願寺新報」・「大乘」・「おおいた法の海」を購読促進する。

④ 教区仏壯だより発刊

5. 行事計画

- ① 総会―門徒壮年結集大会
6月13日(土)
季平 博昭 先生
- ② 門徒壮年一泊研修協議会
9月5日(土)〜6日(日)
藤井 邦麿 先生
- ③ 全国仏教壮年結成大会
10月10日(土) 本山
- ④ 九州仏教壮年福岡大会
11月3日(火) 福岡教区
- ⑤ 幹部養成研修会
3月13日(土)〜14日(日)
本山
- ⑥ 理事・組担当者合同会議
随時

あとがき

先日、長い梅雨が明けた日ピニールプールの中で、3兄弟が小さな水着をつけて無心で仲良く水しぶきをあげて遊ぶ姿を見ると、自然と目尻が下がりました。私たちも同朋の皆様と手をとり合って、阿弥陀様のおみのりに包まれて無心で遊びたいものだなあ…と、ふと思いました。

これからは、暑さが身にしみる季節になりました。皆様も健康に気を付けて日々をお過ごし下さい。

編集委員長 平松 幹雄
副理事長 合掌